



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年8月1日  
上場取引所 東

上場会社名 参天製薬株式会社  
コード番号 4536 URL <https://www.santen.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 黒川 明  
問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーショングループ (氏名) クリストファー・TELE 06-4802-9360  
グループマネージャー ホフマン  
四半期報告書提出予定日 2019年8月2日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

コアベース

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア四半期利益		親会社の所有者に 帰属する コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益	希薄化後1株当たり コア四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	59,136	4.7	12,794	9.6	9,671	12.1	9,680	12.2	24.25	24.19
2019年3月期第1四半期	56,483	1.0	11,669	△14.8	8,628	△15.1	8,631	△15.2	21.21	21.15

#### IFRS（フル）ベース

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	59,136	4.7	9,246	△7.7	9,002	△4.8	6,390	△6.7	6,399	△6.6	2,423	△65.4
2019年3月期第1四半期	56,483	1.0	10,016	△16.9	9,455	△21.7	6,852	△24.0	6,854	△24.0	7,000	△42.1

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	16.03	15.99
2019年3月期第1四半期	16.85	16.79

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	386,304	289,857	288,271	74.6	722.27
2019年3月期	391,186	292,572	290,900	74.4	728.97

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	13.00	-	13.00	26.00
2020年3月期	-	-	-	-	-
2020年3月期（予想）	-	13.00	-	13.00	26.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

コアベース

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	248,000	6.0	51,000	5.7	37,700	4.5	95.29

#### IFRS（フル）ベース

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	248,000	6.0	34,500	△23.5	34,300	△20.4	23,200	△27.4	58.98

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

IFRS（フル）ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(注) 詳細は、添付資料P13「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	399,844,054株	2019年3月期	399,782,354株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	668,368株	2019年3月期	663,412株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	399,095,566株	2019年3月期1Q	406,881,532株

(注) 期末自己株式数には、株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式(2019年3月期末 5,642株、2020年3月期1Q 5,642株)が含まれています。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績は、事業環境変化、新薬の承認時期、為替レート変動、医薬品行政の動向など様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2019年8月1日(木)に証券アナリスト、機関投資家向けの第1四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。この説明会で使用する資料は、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書 .....	7
(2) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
3. 連結参考資料 .....	14
(1) 主要製品売上収益 .....	14
(2) 開発状況 .....	15
(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費 .....	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当第1四半期連結累計期間の業績の状況

(ア) コアベース ※1

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前年同期増減率
売上収益	56,483	59,136	4.7%
コア営業利益	11,669	12,794	9.6%
コア四半期利益	8,628	9,671	12.1%
親会社の所有者に帰属する コア四半期利益	8,631	9,680	12.2%

[売上収益]

前年同期と比べ4.7%増加し、591億円となりました。

主力の医療用医薬品事業においては、日本では前年同期と比べ横ばいとなりました。EMEA（ヨーロッパ、中東およびアフリカ）・中国を含むアジア地域では当社製品は順調に市場浸透し、成長を維持しています。

売上収益の内訳は次のとおりです。

(単位：百万円)

	日本	中国	アジア	EMEA	米州	合計
医療用医薬品	33,584	6,740	4,363	9,352	208	54,247
	△0.4%	26.3%	20.2%	0.9%	115.5%	4.2%
一般用医薬品	3,637	—	76	—	—	3,713
	5.3%	—	25.5%	—	—	5.6%
医療機器	729	—	—	104	1	834
	14.4%	—	—	377.5%	—	26.5%
その他	316	13	14	—	—	343
	31.9%	19.9%	△34.9%	—	—	26.0%
合計	38,265	6,753	4,453	9,456	208	59,136
	0.6%	26.3%	19.9%	1.8%	116.1%	4.7%

(注) 外部顧客に対する売上収益を表しています。  
アジアには中国を含んでいません。

上段：金額  
下段：対前年同期増減率

<医療用医薬品>

◇日本

前年同期と比べほぼ横ばいの336億円となりました。各疾患領域の主力製品の売上推移は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域

「タプロス点眼液」	24億円	(対前年同期増減率 △ 0.7%)
「タブコム配合点眼液」	7億円	(対前年同期増減率 + 3.8%)
「コソプト配合点眼液」	20億円	(対前年同期増減率 △28.4%)

・角結膜疾患治療剤領域

「ヒアレイン点眼液」	21億円	(対前年同期増減率 △ 6.5%)
「ジクアス点眼液」	36億円	(対前年同期増減率 + 7.4%)

・抗アレルギー点眼剤領域

「アレジオン点眼液」	21億円	(対前年同期増減率 △ 9.6%)
------------	------	-------------------

・網膜疾患治療剤領域

「アイリーア硝子体内注射液※2」	151億円	(対前年同期増減率 + 8.4%)
------------------	-------	-------------------

◇中国

円換算ベースで前年同期と比べ26.3%増加し、67億円となりました。主力製品の売上推移は次のとおりです。

・角結膜疾患治療剤領域 「ヒアレイン点眼液」	24億円	（対前年同期増減率 +21.7%）
・眼感染症治療剤領域 「クラビット点眼液」	30億円	（対前年同期増減率 +41.9%）

◇アジア（中国除く）

円換算ベースで前年同期と比べ20.2%増加し、44億円となりました。主力製品の売上推移は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域 「コソプト配合点眼液」	10億円	（対前年同期増減率 +11.7%）
・角結膜疾患治療剤領域 「ジクアス点眼液」	8億円	（対前年同期増減率 +147.9%）

◇EMEA

円換算ベースで前年同期と比べ0.9%増加し、94億円となりました。主力製品の売上推移は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域 「タブロス点眼液」	17億円	（対前年同期増減率 △ 0.0%）
「タブコム配合点眼液」	6億円	（対前年同期増減率 +32.5%）
「コソプト配合点眼液」	24億円	（対前年同期増減率 △ 2.4%）
「トルソプト点眼液」	7億円	（対前年同期増減率 + 3.7%）
・角結膜疾患治療剤領域 「アイケルビス」	7億円	（対前年同期増減率 +16.8%）

<一般用医薬品>

前年同期と比べ5.6%増加し、37億円となりました。

「サンテボーティエシリーズ」、新「サンテメディカルシリーズ」、「ソフトサンティアシリーズ」などの高価格帯品に引き続き注力しています。

<医療機器>

前年同期と比べ26.5%増加し、8億円となりました。

これまでの主力品の「エタニティ」シリーズに加え、2019年4月に発売した眼内レンズ「レンティス コンフォート」（Oculentis社（オランダ）から導入）の普及促進活動に注力しています。

<その他>

その他の売上収益は3億円となりました。サプリメント製品の販売、株式会社クレール（連結子会社）での無塵・無菌服のクリーニング業によるものです。

[コア営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ4.6%増加し、350億円となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期とほぼ横ばいの、160億円となりました。

研究開発費は、前年同期と比べ9.9%増加し、62億円となりました。

以上により、コアベースでの営業利益は、前年同期と比べ9.6%増加し、128億円となりました。

（イ）IFRS（フル）ベース

（単位：百万円）

	前第1四半期	当第1四半期	対前年同期増減率
売上収益	56,483	59,136	4.7%
営業利益	10,016	9,246	△7.7%
四半期利益	6,852	6,390	△6.7%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	6,854	6,399	△6.6%

[売上収益]

コアベースからの調整はありません。

[営業利益]

売上総利益、販売費及び一般管理費、研究開発費について、コアベースからの調整はありません。

製品に係る無形資産償却費は、前年同期と比べ42.5%増加し、25億円となりました。これは主に、米メルク社から2014年に譲受けた眼科製品に関する無形資産、2015年より欧州で販売を開始した「アイケルビス」に関する無形資産、ならびに2016年のInnFocus, Inc. 買収に伴い取得したDE-128 (PRESERFLO MicroShunt) に関する無形資産（2019年4月より償却開始）によるものです。

その他の収益は、1億円となりました。

その他の費用は、12億円となりました。主に、2016年のInnFocus, Inc. 買収に係る条件付対価の公正価値の変動によるものです。

これらにより、IFRS（フル）ベースの営業利益は、前年同期と比べ7.7%減少し、92億円となりました。

[親会社の所有者に帰属する四半期利益]

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期と比べ6.6%減少し、64億円となりました。売上収益に対するその比率は、10.8%となりました。

※1 参天製薬グループではIFRS適用を機に、IFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一部の収益および費用を控除した「コアベース」での財務情報を経常的な業績を示す指標として開示しています。IFRS（フル）ベースによる業績からコアベースでの業績への調整において控除する以下の収益および費用とそれらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算出しています。

- ・製品に係る無形資産償却費
- ・その他の収益
- ・その他の費用
- ・金融収益
- ・金融費用
- ・販売費及び一般管理費のうち企業買収に係る一過性費用

※2 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品です。

② 研究開発活動

<緑内障・高眼圧症領域>

プロスタグランジンF<sub>2</sub>α誘導体およびβ遮断剤の配合剤DE-111（一般名：タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩）は、中国で2019年1月に第Ⅲ相試験を開始しました。

EP2受容体作動薬DE-117（一般名：オミデネパグ イソプロピル）は、米国で2018年9月に第Ⅲ相試験を開始しました。日本では2018年11月に発売しました。アジアでは2019年4月より韓国をはじめとして順次、販売承認を申請しています。

FP/EP3受容体デュアル作動薬DE-126（一般名：sepetaprost）は、米国および日本で、2017年7月より後期第Ⅱ相試験を実施しています。

緑内障用デバイスDE-128は、FDA承認取得に向け米国および欧州にて第Ⅱ／Ⅲ相試験を実施しています（欧州にてCEマーク承認取得済み）。

プロスタグランジンF<sub>2</sub>α誘導体の乳化点眼剤DE-130A（一般名：ラタノプロスト）は、欧州、およびアジアで2019年4月より第Ⅲ相試験を実施しています。

<角結膜疾患（ドライアイを含む）領域>

DE-076C（開発品名：Vekacia、一般名：シクロスポリン）は、2018年7月に欧州委員会より医薬品販売承認を取得し、イギリスで2018年10月に発売しました。アジアでは、2018年11月に販売承認を申請しました。カナダでは、2018年12月に販売承認を取得しました。

<網膜・ぶどう膜疾患領域>

DE-109（一般名：シロリムス）は、米国で2018年12月よりぶどう膜炎を対象とした追加の第Ⅲ相試験を実施しています。

DE-122（一般名：carotuximab）は、米国での開発を目指し、2017年7月より滲出型加齢黄斑変性を対象とした前期第Ⅱ相試験を実施しています。

<その他疾患領域>

DE-127（一般名：アトロピン硫酸塩）は、アジアで2017年11月より近視を対象とする第Ⅱ相試験を実施しています。日本では、2019年度上期より第Ⅱ／Ⅲ相試験を実施予定です。

眼内レンズMD-16は、日本で2019年5月に製造販売承認を申請しました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第1四半期末の資産は、3,863億円となりました。IFRS第16号「リース」適用による有形固定資産の増加などの一方、現金及び現金同等物および営業債権及びその他の債権の減少などにより前期末と比べ49億円減少しました。

資本は、2,899億円となりました。利益剰余金の増加などの一方、その他の資本の構成要素の減少などにより前期末と比べ27億円減少しました。

負債は、964億円となりました。IFRS第16号「リース」適用による金融負債およびその他の金融負債の増加などの一方、営業債務及びその他の債務および法人所得税等の支払による未払法人所得税等の減少などにより前期末と比べ22億円減少しました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ0.2ポイント増加し、74.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、50億円の収入（前年同期は、32億円の支出）となりました。これは法人所得税の支払いが63億円あったことなどの一方、四半期利益が64億円および減価償却費及び償却費が41億円あったことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、14億円の支出（前年同期は、18億円の支出）となりました。これは有形固定資産および無形資産の取得による支出が21億円あった一方、投資の売却による収入が8億円あったことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、57億円の支出（前年同期は、66億円の支出）となりました。これは配当金の支払いが51億円あったことなどによるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、前期末と比べ30億円減少し、678億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、概ね予定通り推移しており、2019年5月9日に公表した業績予想からの変更はございません。



2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上収益	56,483	59,136
売上原価	△23,022	△24,120
売上総利益	33,461	35,016
販売費及び一般管理費	△16,173	△16,047
研究開発費	△5,619	△6,174
製品に係る無形資産償却費	△1,739	△2,477
その他の収益	118	101
その他の費用	△33	△1,172
営業利益	10,016	9,246
金融収益	500	441
金融費用	△1,060	△684
税引前四半期利益	9,455	9,002
法人所得税費用	△2,604	△2,612
四半期利益	6,852	6,390
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目：		
確定給付制度の再測定	—	—
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産の純変動	△1,327	△909
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	1,476	△3,058
その他の包括利益	149	△3,967
四半期包括利益合計	7,000	2,423
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	6,854	6,399
非支配持分	△3	△9
四半期利益	6,852	6,390
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者持分	7,028	2,509
非支配持分	△27	△86
四半期包括利益合計	7,000	2,423
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	16.85	16.03
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	16.79	15.99
＜コアベース＞		
売上収益	56,483	59,136
コア営業利益	11,669	12,794
コア四半期利益	8,628	9,671
基本的1株当たりコア四半期利益(円)	21.21	24.25
希薄化後1株当たりコア四半期利益(円)	21.15	24.19
コア四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	8,631	9,680
非支配持分	△3	△9
コア四半期利益	8,628	9,671

（2）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	31,699	39,144
無形資産	131,110	127,243
金融資産	30,044	27,864
繰延税金資産	1,771	1,743
その他の非流動資産	1,819	1,982
非流動資産合計	196,444	197,976
流動資産		
棚卸資産	35,235	33,738
営業債権及びその他の債権	84,618	82,349
その他の金融資産	267	395
その他の流動資産	3,826	4,048
現金及び現金同等物	70,796	67,798
流動資産合計	194,742	188,328
資産合計	391,186	386,304

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資本</b>		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	8,252	8,283
資本剰余金	8,661	8,715
自己株式	△1,131	△1,131
利益剰余金	258,659	260,287
その他の資本の構成要素	16,461	12,118
親会社の所有者に帰属する持分合計	290,900	288,271
非支配持分	1,672	1,586
資本合計	292,572	289,857
<b>負債</b>		
非流動負債		
金融負債	23,520	30,178
退職給付に係る負債	1,992	2,066
引当金	1,255	1,256
繰延税金負債	9,389	8,814
その他の非流動負債	1,795	1,320
非流動負債合計	37,951	43,634
流動負債		
営業債務及びその他の債務	32,079	27,189
その他の金融負債	12,116	13,865
未払法人所得税等	7,185	3,273
引当金	717	815
その他の流動負債	8,566	7,671
流動負債合計	60,663	52,812
負債合計	98,614	96,447
資本及び負債合計	391,186	386,304

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2018年4月1日残高	8,032	8,657	△11	249,225	—	14,364
四半期包括利益						
四半期利益				6,854		
その他の包括利益						△1,327
四半期包括利益合計	—	—	—	6,854	—	△1,327
所有者との取引額						
新株の発行	29	29				
自己株式の取得			△1			
配当金				△5,289		
所有者との取引額合計	29	29	△1	△5,289	—	—
2018年6月30日残高	8,061	8,687	△12	250,790	—	13,037

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計			
2018年4月1日残高	4,583	975	19,921	285,823	1,734	287,557
四半期包括利益						
四半期利益			—	6,854	△3	6,852
その他の包括利益	1,500		173	173	△25	149
四半期包括利益合計	1,500	—	173	7,028	△27	7,000
所有者との取引額						
新株の発行		△40	△40	18		18
自己株式の取得			—	△1		△1
配当金			—	△5,289		△5,289
所有者との取引額合計	—	△40	△40	△5,271	—	△5,271
2018年6月30日残高	6,083	935	20,054	287,580	1,707	289,287

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	その他の資本の構成要素					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2019年4月1日残高	8,252	8,661	△1,131	258,659	—	10,230
四半期包括利益						
四半期利益				6,399		
その他の包括利益						△909
四半期包括利益合計	—	—	—	6,399	—	△909
所有者との取引額						
新株の発行	31	31				
自己株式の取得			△0			
配当金				△5,189		
株式報酬取引		23				
その他				418		△418
所有者との取引額合計	31	54	△0	△4,771	—	△418
2019年6月30日残高	8,283	8,715	△1,131	260,287	—	8,904

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計			
2019年4月1日残高	5,428	802	16,461	290,900	1,672	292,572
四半期包括利益						
四半期利益			—	6,399	△9	6,390
その他の包括利益	△2,981		△3,890	△3,890	△77	△3,967
四半期包括利益合計	△2,981	—	△3,890	2,509	△86	2,423
所有者との取引額						
新株の発行		△35	△35	28		28
自己株式の取得			—	△0		△0
配当金			—	△5,189		△5,189
株式報酬取引			—	23		23
その他			△418	—		—
所有者との取引額合計	—	△35	△452	△5,138	—	△5,138
2019年6月30日残高	2,447	768	12,118	288,271	1,586	289,857

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	6,852	6,390
減価償却費及び償却費	2,749	4,122
金融収益及び金融費用(△は益)	△155	△231
法人所得税費用	2,604	2,612
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	△1,991	1,841
棚卸資産の増減(△は増加)	△1,329	1,361
営業債務及びその他の債務の増減(△は減少)	△2,581	△4,885
引当金及び退職給付に係る負債の増減(△は減少)	△332	217
その他	△2,296	△339
小計	3,521	11,089
利息の受取額	58	24
配当金の受取額	257	258
利息の支払額	△3	△59
法人所得税の支払額	△7,040	△6,313
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,207	4,999
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	△211	—
投資の売却による収入	—	760
有形固定資産の取得による支出	△1,122	△1,182
無形資産の取得による支出	△446	△924
その他	△24	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,802	△1,355
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,454	—
配当金の支払額	△5,205	△5,102
その他	17	△641
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,642	△5,743
現金及び現金同等物の増減額	△11,652	△2,099
現金及び現金同等物の期首残高	69,283	70,796
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△207	△899
現金及び現金同等物の四半期末残高	57,425	67,798

（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下に記載する会計方針の変更を除き、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

参天製薬グループでは、当第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しています。

基準書		強制適用時期 (以降開始年度)	参天製薬グループ 適用時期	新設・改訂の概要
IFRS第16号	リース	2019年1月1日	2020年3月期	リースの認識に関する会計処理の改訂

IFRS第16号「リース」

参天製薬グループでは、これまでIAS第17号「リース」（以下「IAS第17号」という。）を適用してきましたが、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号を適用しています。

前連結会計年度において、参天製薬グループは、実質的にすべてのリスクおよび経済的便益を享受するリース契約をファイナンス・リースとして分類しています。リース資産は公正価値または最低支払リース料総額の現在価値のいずれか低い金額で当初認識しています。ファイナンス・リース以外のリース契約はオペレーティング・リースに分類しており、参天製薬グループの連結財政状態計算書には計上されていません。オペレーティング・リースの支払リース料は、費用としてリース期間にわたって定額法で認識しています。

当第1四半期連結累計期間において、参天製薬グループは、IFRS第16号に基づき、契約の締結時に契約がリースであるかまたはリースを含んでいるかを判定しています。契約が特定された資産の使用を支配する権利を一定期間にわたり対価と交換に移転する場合には、当該契約はリースであるかまたはリースを含んでいると判定しています。

契約がリースであるかまたはリースを含んでいると判定した場合、リースの開始日に使用権資産とリース負債を認識しています。リース負債は、リース開始日における未決済のリース料の割引現在価値として当初測定しています。使用権資産は、リース負債の当初測定額に当初直接コスト、前払リース料等を調整した取得原価で当初測定し、リースの開始日から経済的耐用年数またはリース期間のいずれか短い期間にわたり規則的に償却しています。なお、参天製薬グループは、リース期間が12ヶ月以内のリースおよび原資産が少額であるリースについては使用権資産とリース負債を認識せず、リース期間にわたり定額法により費用として認識しています。

参天製薬グループでは、経過措置に従ってIFRS第16号を遡及適用し、適用開始の累積的影響額を適用開始日（2019年4月1日）に認識しています。IFRS第16号への移行に際し、契約にリースが含まれているか否かについては、IFRS第16号C3項の実務上の便法を選択し、IAS第17号およびIFRIC第4号「契約にリースが含まれているか否かの判断」のもとでの判断を引き継いでいます。

参天製薬グループは、過去にIAS第17号を適用してオペレーティング・リースに分類したリースについて、IFRS第16号の適用開始日に、リース負債を認識しています。

適用開始日において要約四半期連結財政状態計算書に認識した使用権資産は7,696百万円、リース負債は8,564百万円です。使用権資産は「有形固定資産」に含まれており、リース負債は「金融負債」または「その他の金融負債」に含まれています。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

3. 連結参考資料  
(1) 主要製品売上収益

(単位:百万円)

品目名 (有効成分・剤形)	薬効成分	地域	2019年3月期				2020年3月期			
			第1四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 実績	対前年 伸長率	第1四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 見込	対前年 伸長率
クラビット点眼液 (レボフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	3,766	0.5%	15,028	0.6%	4,549	20.8%	15,733	4.7%
		日本	898	△23.6%	3,175	△22.7%	722	△19.6%	2,528	△20.4%
		中国	2,112	12.4%	8,860	10.9%	2,997	41.9%	9,924	12.0%
		アジア	336	19.8%	1,524	23.5%	448	33.5%	1,873	22.9%
		EMEA	420	2.0%	1,468	△9.0%	384	△8.6%	1,407	△4.2%
タリビッド点眼液 (オフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	358	△24.4%	1,445	△8.6%	410	14.6%	1,472	1.9%
		日本	136	△6.0%	482	△5.2%	112	△17.6%	364	△24.5%
		中国	146	△15.9%	599	△13.8%	179	22.6%	581	△3.0%
		アジア	76	△51.2%	364	△3.7%	119	56.5%	527	44.9%
		EMEA	—	—	—	—	—	—	—	—
タブコム配合点眼液 (タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	1,155	24.9%	4,788	23.0%	1,356	17.4%	5,708	19.2%
		日本	644	△0.3%	2,549	2.8%	668	3.8%	2,724	6.9%
		アジア	66	148.8%	308	94.9%	98	49.5%	400	29.7%
		EMEA	445	76.4%	1,930	53.9%	590	32.5%	2,583	33.8%
		合計	4,615	2.1%	18,014	1.0%	4,662	1.0%	18,645	3.5%
タブロス点眼液 (タフルプロスト点眼液)	緑内障治療剤	合計	2,414	△4.4%	9,554	△0.6%	2,396	△0.7%	9,135	△4.4%
		日本	38	64.3%	228	54.8%	85	122.2%	370	62.3%
		中国	484	24.9%	1,857	11.9%	502	3.7%	1,992	7.2%
		アジア	1,679	5.9%	6,375	△0.8%	1,678	△0.0%	7,149	12.1%
		EMEA	—	—	—	—	—	—	—	—
コソプト配合点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	6,129	△0.4%	21,985	△9.2%	5,398	△11.9%	20,341	△7.5%
		日本	2,759	△8.2%	8,919	△21.8%	1,977	△28.4%	7,608	△14.7%
		アジア	937	17.7%	3,675	14.9%	1,047	11.7%	3,745	1.9%
		EMEA	2,432	3.4%	9,392	△2.2%	2,374	△2.4%	8,988	△4.3%
		合計	275	△31.6%	991	△31.7%	241	△12.4%	1,350	36.2%
チモプトール点眼液 (チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	513	△14.8%	1,883	△15.2%	441	△13.9%	1,406	△25.3%
		日本	323	△17.7%	1,151	△18.2%	264	△18.3%	1,107	△3.8%
		アジア	28	6.7%	108	2.6%	27	△2.1%	109	0.8%
		EMEA	162	△11.9%	624	△12.0%	150	△7.2%	190	△69.5%
		合計	1,154	△2.9%	4,586	△1.9%	1,159	0.4%	4,530	△1.2%
トルソプト点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	398	△11.1%	1,474	△10.2%	362	△9.0%	1,359	△7.8%
		日本	100	28.9%	415	26.9%	117	16.5%	526	26.6%
		中国	656	△1.1%	2,697	△0.4%	680	3.7%	2,645	△1.9%
		アジア	—	—	—	—	—	—	—	—
		EMEA	—	—	—	—	—	—	—	—
エイベリス点眼液 (オミデネバグ イソプロピル点眼液)	緑内障治療剤	合計	—	—	431	—	285	—	2,366	449.0%
		日本	—	—	431	—	285	—	2,366	449.0%
アレジオン点眼液 (エピナスチン塩酸塩点眼液)	抗アレルギー点眼剤	合計	2,345	△12.0%	19,445	15.4%	2,120	△9.6%	21,865	12.4%
		日本	2,345	△12.0%	19,445	15.4%	2,120	△9.6%	21,865	12.4%
フルメトロン点眼液 (フルオロメトロン点眼液)	抗炎症点眼剤	合計	841	△6.7%	3,302	△5.6%	808	△3.9%	3,293	△0.3%
		日本	405	△25.5%	1,640	△22.4%	305	△24.6%	1,432	△12.7%
		中国	318	22.1%	1,231	16.2%	381	19.7%	1,309	6.3%
		アジア	118	22.0%	430	32.6%	122	3.1%	552	28.3%
		EMEA	—	—	—	—	—	—	—	—
カリーユニ点眼液 (ビレノキシ点眼液)	老人性白内障治療剤	合計	1,015	△17.0%	4,076	△7.6%	1,000	△1.5%	4,122	1.1%
		日本	671	△8.5%	2,604	△5.0%	647	△3.6%	2,597	△0.2%
		中国	169	△2.4%	760	△14.1%	148	△12.6%	756	△0.5%
		アジア	175	△44.7%	713	△9.5%	205	17.6%	768	7.8%
		EMEA	—	—	—	—	—	—	—	—
OftanCatachrom (オフタンカタクロム) (チトクロームC/アデノシン/ ニコチンアミド含有点眼液)	老人性白内障治療剤	合計	627	△18.8%	2,397	△11.1%	589	△6.0%	2,445	2.0%
		EMEA	627	△18.8%	2,397	△11.1%	589	△6.0%	2,445	2.0%
オペガンハイ眼粘弾剤 (ヒアルロン酸ナトリウム眼科手術補助剤)	眼科手術補助剤	合計	542	△12.8%	2,154	△6.5%	567	4.7%	2,011	△6.7%
		日本	542	△12.8%	2,154	△6.5%	567	4.7%	2,011	△6.7%
アイリーア硝子体内注射液 (アフリベルセプト(遺伝子組換え) 硝子体内注射液)	眼科用VEGF阻害剤	合計	13,976	6.6%	56,157	9.0%	15,148	8.4%	58,363	3.9%
		日本	13,976	6.6%	56,157	9.0%	15,148	8.4%	58,363	3.9%
ヒアレイン点眼液 (ヒアルロン酸ナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	4,864	3.3%	18,902	4.0%	4,948	1.7%	19,207	1.6%
		日本	2,287	△23.6%	8,763	△18.7%	2,139	△6.5%	7,152	△18.4%
		中国	1,986	52.8%	7,567	31.3%	2,417	21.7%	9,792	29.4%
		アジア	591	41.7%	2,572	57.3%	392	△33.7%	2,263	△12.0%
		EMEA	—	—	—	—	—	—	—	—
ジクアス点眼液 (ジクアホソルナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	3,678	4.8%	15,367	7.6%	4,434	20.6%	16,866	9.8%
		日本	3,355	5.2%	13,932	8.7%	3,605	7.4%	15,082	8.3%
		中国	—	—	25	—	30	—	235	829.7%
		アジア	322	0.1%	1,409	△3.7%	799	147.9%	1,549	10.0%
		EMEA	—	—	—	—	—	—	—	—
Ikervis(アイケルビス) (シクロスポリン点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	723	50.8%	3,391	65.5%	920	27.2%	4,091	20.7%
		アジア	82	—	459	570.3%	171	107.7%	917	99.7%
		EMEA	641	34.1%	2,932	48.0%	749	16.8%	3,174	8.3%
Cationorm(カチオノーム)	角結膜疾患治療剤	合計	604	20.1%	2,512	20.1%	715	18.3%	3,486	38.7%
		アジア	37	△22.9%	168	△15.8%	47	28.3%	322	91.8%
		EMEA	515	27.2%	1,989	19.1%	500	△2.9%	2,634	32.4%
		米州	53	3.5%	355	59.1%	168	218.8%	530	49.1%
レンティス コンフォート	白内障治療用 眼内レンズ	合計	—	—	129	—	183	—	2,910	—
		日本	—	—	129	—	183	—	2,910	—
一般用医薬品		合計	3,514	△11.7%	14,223	△2.5%	3,713	5.6%	15,128	6.4%
		日本	3,454	△11.8%	13,930	△2.6%	3,637	5.3%	14,707	5.6%
		アジア	60	△2.2%	293	△0.1%	76	25.5%	421	43.5%

※上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。



（2）開発状況

※2019年8月1日現在

■開発状況一覧表（臨床段階）

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シロリムス	DE-109	ぶどう膜炎	自社	米国						
				日本						
				欧州						
				アジア	2015年4月					
免疫抑制作用、血管新生抑制作用などを有する硝子体内注射剤。米国で、2018年12月に追加のフェーズ3試験を開始、2022年度頃に終了予定。アジアで、2015年4月に販売承認を申請。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩	DE-111	緑内障・高眼圧症	AGCと共同開発	中国						
プロスタグランジンF <sub>2α</sub> 誘導体およびβ遮断剤の配合剤。2014年11月、日本で発売。2015年1月以降、欧州で順次発売。2016年4月以降、アジアで順次発売。中国で、2019年1月にフェーズ3試験を開始、2020年度上期に終了予定。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
エピナスチン塩酸塩	DE-114A	アレルギー性結膜炎	日本ベーリンガーインゲルハイム	日本	2018年9月					
H <sub>1</sub> 拮抗作用と膜安定化作用を併せ持つアレルギー性結膜炎治療剤。高用量製剤。日本で、2018年9月に製造販売承認を申請、2019年12月までに承認予定。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オミデネパグイソプロピル	DE-117	緑内障・高眼圧症	宇部興産と共同開発	米国						
				日本	2018年11月					
				アジア	2019年4月					
新規メカニズムのEP2受容体作動薬。米国で、2018年9月にフェーズ3試験を開始、2020年1月～6月に終了予定。日本で、2018年11月に発売。アジアでは2019年4月より韓国をはじめとして順次販売承認を申請、2020年度上期に承認予定。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
carotuximab	DE-122	滲出型加齢黄斑変性	TRACON社	米国	(フェーズ2a)					
抗エンドグリン抗体の硝子体内注射剤。米国での開発を目指し、2017年7月にフェーズ2a試験を開始、2019年度下期に終了予定。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
sepetaprost	DE-126	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国	(フェーズ2b)					
				日本	(フェーズ2b)					
FP受容体およびEP3受容体への作動作用（デュアル作動薬）を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国および日本で、2017年7月にフェーズ2b試験を開始。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	DE-127	近視	Singapore Health Services社、南洋理工大学	日本						
				アジア						
小児における近視の進行を抑制するムスカリン受容体拮抗薬。日本で、2019年度上期にフェーズ2／3試験を開始予定。アジアで、2017年11月にフェーズ2試験を開始、2019年度下期に終了予定。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
緑内障用デバイス	DE-128	緑内障	自社	米国	(フェーズ2／3)					
				欧州						
原発開放隅角緑内障における眼圧下降を目的とし、房水の流出を促すインプラント手術用デバイス。FDA承認取得に向け米国および欧州にて、フェーズ2／3試験を実施中。2019年に市販前承認（PMA）の段階的申請を完了し、2020年に上市予定。欧州にてCEマークの承認を取得済み。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	DE-076C (Vekacia)	春季カタル	自社	欧州	2018年10月					
				アジア	2018年11月					
				その他	2018年12月					
免疫抑制作用により、春季カタルの症状を改善する乳化点眼剤。カチオニック製剤技術により組織移行性を高めた製剤。2018年7月に欧州委員会より医薬品販売承認を取得し、イギリスで、2018年10月に発売。アジアで、2018年11月に販売承認を申請、2019年7月～12月に承認予定。カナダで、2018年12月に販売承認を取得、2019年に発売予定。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ラタノプロスト	DE-130A (Catioprost)	緑内障・高眼圧症	自社	欧州						
				アジア						
プロスタグランジンF <sub>2α</sub> 誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。欧州およびアジアで、2019年4月にフェーズ3試験を開始、2021年に終了予定。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
眼内レンズ	MD-16	白内障	Oculentis社	日本	2019年5月					
白内障手術後無水晶体に挿入する、乱視用（トーリック）眼内レンズ。日本で、2019年5月に製造販売承認を申請、2020年1月～6月に承認予定。										

■2018年度第4四半期決算発表時（2019年5月9日）からの変更点

開発コード	変更点
MD-16	日本で、2019年5月に製造販売承認を申請
DE-109	米国で、2022年度頃に追加のフェーズ3試験を終了予定

(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費

■設備投資

(単位：百万円)

	2019年3月期		2020年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
設備投資額	1,280	7,220	1,853	10,000

(注) 使用権資産の増加は除いています。

■減価償却費及び償却費

(単位：百万円)

	2019年3月期		2020年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
総額	1,009	3,981	1,098	4,760
製造経費	473	1,872	566	2,140
販売管理費	375	1,478	372	1,860
研究開発費	161	631	160	760

(注) 製品に係る無形資産償却費、長期前払費用の償却費および使用権資産の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

(単位：百万円)

	2019年3月期		2020年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
総額	1,739	6,988	2,477	9,900
メルク無形資産償却費	1,452	5,808	1,452	5,810
DE-128*無形資産償却費	—	—	705	2,830
アイケルビス無形資産償却費	183	727	174	740
その他	103	453	146	520

\*DE-128 (PRESERFLO MicroShunt)

■研究開発費

(単位：百万円)

	2019年3月期		2020年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
研究開発費	5,619	23,759	6,174	28,000
対売上収益比	9.9%	10.2%	10.4%	11.3%

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。